

## ガーディアンロボットプロジェクト

### ～脳科学・心理学とAIを繋ぐロボット研究～

#### 概要

理化学研究所は国内唯一の自然科学の総合研究所です。ATRを拠点にロボット研究やAI研究に取り組んでいます。ガーディアンロボットプロジェクト(GRP)では、ロボットと人が共存する未来社会を想定し、実空間で人間と共存する自律的なロボットの開発を目指しています。

#### 特徴

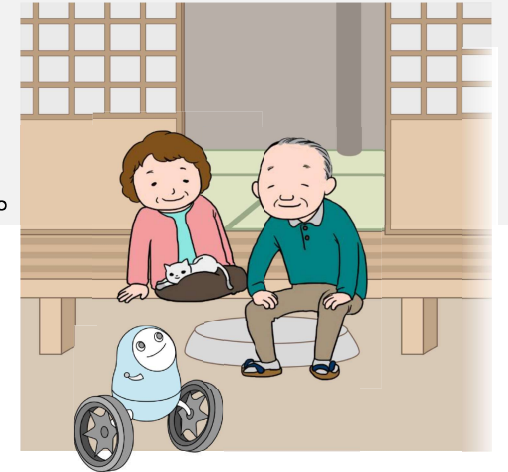
- 人間の認知機能を中心とするところのメカニズム(認識、記憶、思考、注意、感情、知能、動機)を計算論的に解明し、ロボット実装を通じて構成論的に実証するために、情報系・工学系に加えて、生命系・人文系の知識を結集
- 対話型ロボット、移動型ロボット、動作支援型ロボットを目下開発中
- オープンハウスでは、研究スペースで各種ロボット等を展示

#### 今後の展開

- コミュニケーションのために、ロボットに人間と同じような認知機能、感覚(センサ)、知識(常識)を持たせ、主人の行動パターンや好みに適応していくことを目指していきます。

#### テーマ「Society5.0への貢献～サイバーとフィジカルの融合に向けて～」との関連

- Society5.0 for SDGsでは、一人一人が高度なITやIoT技術の成果をスムーズにストレスなく利用できることが必要となります。そのような利用を可能とする人と機械のインターフェースとしてのロボットには大きな期待が寄せられています。
- PCでもスマホでもなく、人が自然にやり取り・対話、対応できる高齢者にも優しいインターフェースとしての「ロボット」を目指します。



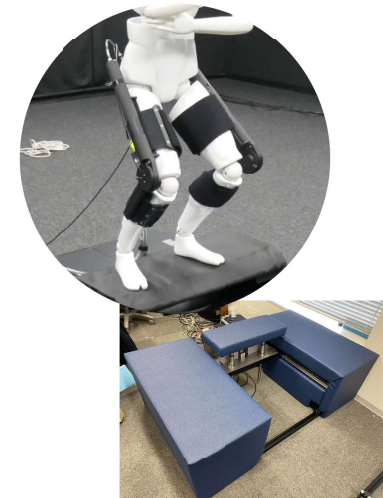
Nikola



ぶつくさ君



外骨格ロボット  
と椅子



現在試作中のロボット達